

資料①

第4回分科会資料

2006年1月

本日の分科会の目的と成果物

- 強み・弱み、機会・脅威を整理し、重点課題を抽出します
- 第3回で検討した強み・弱み、機会・脅威をそれぞれを掛け合わせる事により重点課題を抽出します
- 重点課題の抽出にあたって、市民アンケート結果も参考にしてください

本日の分科会の2つの成果物

①内部・外部環境分析

内部環境	S(強み)	W(弱み)
	O(機会)	T(脅威)
外部環境		

②重点課題検討表

SWOT分析 重点課題検討表	内部環境分析	
	強み (Strength)	弱み (Weakness)
機会 (Opportunities)	強みで機会を活かすための課題	弱みを強化して機会を逃さないための課題
脅威 (Threats)	強みで脅威を克服するための課題	弱みを強化して最悪の事態を招かないための課題

議事次第

- 分科会は合計2時間で行います
- 重点課題抽出の方法を解説し、その後グループで議論を行います

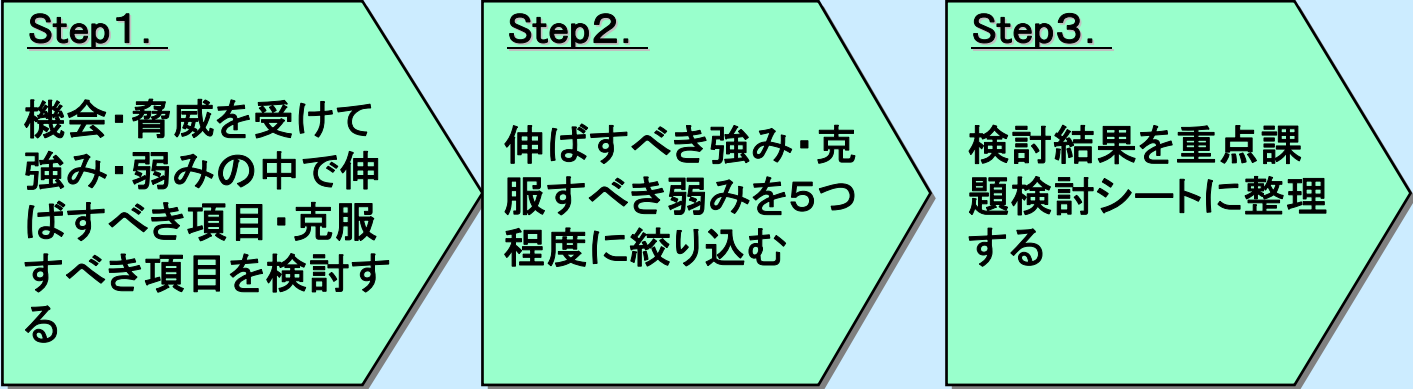
次第	時間	内容
1 開会	5分	①挨拶 ②出欠確認(出欠表の記入) ③前回の検討内容(議事録・整理表)の確認
2 検討の進め方	10分	①検討の進め方に関する説明 ②本日の目標確認 ③市民アンケート結果紹介
3 話し合い	90分	①強み・弱み,機会・脅威の整理・確認 ③重点課題の抽出(各タイプ3～5程度)
4 とりまとめ	10分	模造紙にとりまとめ
5 閉会	5分	①次回の内容 ②次回の日程 ③意見・質問 ④最終総括(会長)

重点課題検討手順 ①重点課題検討表の検討

- 重点課題は、強み・弱みを把握した上で、内外の環境条件(機会・脅威)を踏まえて検討します
- 強み・弱みの中で伸ばすべきもの・克服すべきものを検討します
- 重要な課題を5つ程度に絞り込みます
- 検討結果は重点課題検討シートに整理します

<重点課題抽出の手順>

模造紙上で検討



重点課題検討手順 ②出来上がりイメージ 教育分野の例

※この表は、参考事例であり、宇都宮市を分析したものではありません

内部資源分析			
SWOT分析 重点課題検討表		強み (Strength)	弱み (Weakness)
		教育活動に協力的な民間事業者の存在 一定の質・量が確保された教育施設	外国語を話せる教員が少ない ITリテラシーを教えられる教員が少ない
		教育系NPOが育ってきている	総合学習などマニュアルのない授業に対応できない教員が多い
機会 (Opportunities)		強みで機会を活かすための課題	弱みを強化して機会を逃さないための課題
国際化の進展により、英語を中心とした外国語能力が求められる			英語教育需要の高まりに対して、教員の英語力向上をはかる
自ら学び、自ら判断できるようになる教育が求められている		自ら学び、判断出来るようになるという教育ニーズに対して、民間事業者との連携によりディベートや意思決定・マネジメント等が学べる機会を提供する	
体験学習や総合学習ニーズの高まり		体験学習・総合学習ニーズの高まりに対し、NPOと連携することによって幅広い実践的な教育サービスを提供する	
情報社会化によるIT教育ニーズの高まり			ITリテラシー教育ニーズに対応するために、教員のITスキルを強化する
脅威 (Threats)		強みで脅威を克服するための課題	弱みを強化して最悪の事態を招かないための課題
英語による一般教科科目へのニーズの高まり			英語による一般科目教授需要に対応するために、英語圏から当該科目講師を招聘する
子どもの安全管理・確保		子どもの安全確保のために、NPOと協力して域内パトロールを行う	
実用性の薄い教育への批判		実用性の低い教育を回避するために、民間事業者と連携することにより、実践的な教育機会を提供する	
少子化による児童・学生数の減少		児童の減少に対して、小中高の教員数や施設を徐々に縮小する	
家庭の教育力の低下		家庭の教育力低下に対応するために、NPO等と連携し、地域全体で教育する体制を築く	

SWOT分析結果(前回分科会検討結果)

強み

- ①自然が豊か
- ②文化資源(歴史的なもの、食文化、音楽など)が豊富
- ③(いまは)市の財政が比較的余裕がある
- ④開かれた学校への取組みがなされている
(学校評議員、教頭会が学校評価)

弱み(問題)

- ①世代を超えて交流できる場が少ない
- ②類似する補助金、助成金が行政の縦割りで交付されている
- ③子育てへの負担が重い(特に小学校就学前)
- ④定住外国人への教育面での対応不足
- ⑤遊びの時間を評価していない
- ⑥子どもへの習慣づけの不足(朝ご飯、運動など)

機会

- 幼保一元化への取組み
- 国際交流の機会の増加
- 行政への市民参加の進展
(宇都宮をああしたい、こうしたいという市民の声の増大)
- 団塊世代の退職により、教育への人材の供給
(ボランティア講座への講師の派遣など)

脅威

- 移民の受け入れの増加(労働力不足への対応)
⇒母語のない子どもの増加
- 未婚化の進展
- フリーター、ニートなど不安定な生活を送る人の増加
- 地域間格差の増大
(職業の機会の格差、所得の格差など)
- 教育への無関心な親、市民の増加
(所得がありながら給食費も払わない親もいる)

重点課題検討イメージ

	強み	弱み
	①自然が豊か ②文化資源(歴史的なもの、食文化、音楽など)が豊富 ③(いまは)市の財政が比較的余裕がある ④開かれた学校への取組みがなされている (学校評議員、教頭会が学校評価)	①世代を超えて交流できる場が少ない ②類似する補助金、助成金が行政の縦割りで交付されている ③子育てへの負担が重い(特に小学校就学前) ④定住外国人への教育面での対応不足 ⑤遊びの時間を評価していない ⑥子どもへの習慣づけの不足(朝ご飯、運動など)
機会	強みで機会を活かすための課題 ○市民の参加による開かれた学校づくり (退職後の市民が教壇にたって職業体験を話すなど) ○ ○ ○	弱みを強化して機会を逃さないための課題 ○市民の目からの補助金、助成金評価制度 ○ ○ ○ ○
脅威	強みで脅威を克服するための課題 ○出産、育児(特に小学校就学前)への金銭的な補助・助成の拡大 ○ ○ ○ ○	弱みを克服して最悪の事態を招かないための課題 ○定住外国人向けの日本語教育の拠点づくり ○ ○ ○ ○